夫婦共同扶養確認書

※当該確認書は『配偶者が日本ガイシ健…

※該当する☐に✓を付け、

被保険者等記号-番号	1　－　23456
氏名	健保　太郎

【出生時の記入例】
…育休を1年間取得のケース

夫は日本ガイシ健保加入の被保険者、配偶者（妻）は協会けんぽ加入の被保険者。妻が出産したため、子供を日本ガイシ健保の被扶養者として申請する場合

A.配偶者（夫または妻）はい…

☑いる ⇨ B.…

☐いない ⇨ ☐未婚 … 万円/年　☐無）

「いない」に☑した方は下記、B.以降は記入不要

B.配偶者は日本ガイシ健保の被保険者ですか？

☐はい ⇨ 配偶者の保険証記号・番号：　－

☑いいえ ⇨ 配偶者が加入する健康保険の名称：協会けんぽ

C.収入状況　※①～④を合算して、D.の今後1年間の見込みとなるように記載願います。

❶今後1年間の産前産後休暇について

申請者が男性の場合は配偶者の報酬、女性の場合は自身の報酬を記入

☑現在取得中　☐今後取得予定　☐対象外

「出生」の場合、開始日には出生年月を記入してください

◉ 取得期間　：　2021 年 10 月 ～ 2021 年 11 月

◉ 上記取得期間中の報酬（給付）額　：　38 万円

❷今後1年間の育児休職について

被保険者	☐現在取得中　☐今後取得予定　☑取得しない　☐対象外	◉ 取得期間　：　年　月 ～　年　月 ◉ 上記取得期間中の給付額　：　万円　←育休給付金の額
配偶者	☐現在取得中　☑今後取得予定　☐取得しない　☐対象外	◉ 取得期間　：　2021 年 11 月 ～ 2022 年 9 月 ◉ 上記取得期間中の給付額　：　300 万円　←育休給付金の額

夫は休職せず

妻は育児休業給付金を受給

❸上記❶❷を除く、今後1年間に支給される給与・賞与額

夫は通常勤務のまま

妻は育休期間中

	被保険者	配偶者
給与・賞与額	550 万円	万円
上記金額の対象となる期間	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月	年　月 ～　年　月
上記期間内に短時間勤務等の制度を利用	☐利用する　☑利用しない ☐制度自体が無い	☐利用する　☐利用しない ☐制度自体が無い
昨年度からの勤務形態等の変更有無	☐変更有　☑変更無 （内容：　）	☐変更有　☐変更無 （内容：　）

転職
日勤→夜勤正社員
→パート昇格
など

❹上記❶～❸を除く、今後1年間のその他収入額（事業・不動産・年金・利子・雇用保険給付金等）

	被保険者	配偶者
収入の有無	☐収入有　☑収入無	☐収入有　☑収入無
収入見込み額	万円	万円
上記収入の種類	（　）	（　）

D.年間総収入額（昨年度の実績、および今後1年間の見込み額）

	被保険者	配偶者
昨年度の実績	500 万円	550 万円
今後1年間の見込み	550 万円	338 万円

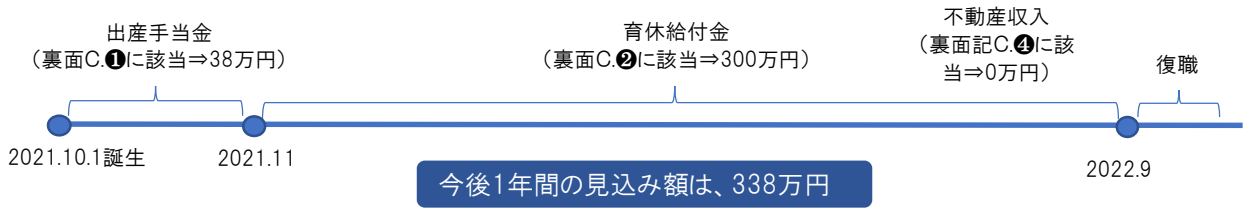
← 源泉徴収票などより転記

← 上記C.より集計し、記入

裏面参照 ➡

【前記記入例における今後1年間の見込額算出】

配偶者(社外)は女性、2021.10.1に出産、その後は産休･育休を取得(育休期間は、2022.9まで)、2022.10.から復職、その他収入は無し



今後1年間の見込み額は、338万円

《参考》 産前産後休暇中･育児休職中の報酬額算出方法(目安)

■産前産後休暇中の報酬額

(1)出産した者が日本ガイシ正規社員の場合

･･･給料･賞与が支給されます(詳細は労制Gに問合せください)

･給料　⇒標準報酬日額(標準報酬月額/30)×2/3×産休日数

･賞与　⇒出勤率を2/3として算出した額

(2)出産した者が日本ガイシ正規社員でない場合

･･･報酬の有無については勤務先に問合せください

(報酬が出ない場合は通常、加入する健保組合から出産手当金が支給されます)

･出産手当金　⇒標準報酬日額(標準報酬月額/30)×2/3×産休日数

■育児休職中の給付金額

･･･受給資格など詳細はハローワークに問合せください

(1)休職開始から180日まで

･休業開始時賃金の日額×支給日数×67%

(2)休職開始181日～終了日まで(通常、子供が1歳を迎える前日まで)

･休業開始時賃金の日額×支給日数×50%

※休業開始賃金の日額とは･･･

育児休業を取る直前の6ヵ月間の給料(残業手当･通勤手当などを含む総支給額)を180日で割った金額

夫婦共同扶養確認書

※当該確認書は『配偶者が日本ガイシ健保…

※該当する□に✓を付け、

被保険者等記号-番号	1 － 23456
名	健保 太郎

【出生時の記入例】
…育休を5ヶ月取得後復職のケース

夫は日本ガイシ健保加入の被保険者、配偶者(妻)は協会けんぽ加入の被保険者。妻が出産したため、子供を日本ガイシ健保の被扶養者として申請する場合

A.配偶者(夫または妻)

☑いる

□いない …… 万円/年 □無)

「いない」に☑した方は下記、B.以…

B.配偶者は日本ガイシ健保の被保険者ですか？

□はい → 配偶者の保険証記号・番号： －

☑いいえ → 配偶者が加入する健康保険の名称： 協会けんぽ

C.収入状況 ※①～④を合算して、D.の今後1年間の見込みとなるように記載願います。

❶今後1年間の産前産後休暇について ← 申請者が男性の場合は配偶者の報酬、女性の場合は自身の報酬を記入

☑現在取得中 □今後取得予定 □対象外 ← 「出生」の場合、開始日には出生年月を記入してください

◉ 取得期間 ： 2021 年 10 月 ～ 2021 年 11 月

◉ 上記取得期間中の報酬(給付)額 ： 38 万円

❷今後1年間の育児休職について

夫は休職せず

妻は育児休業給付金を受給

被保険者	□現在取得中 □今後取得予定 ☑取得しない □対象外 ◉ 取得期間 ： 年 月 ～ 年 月 ◉ 上記取得期間中の給付額 ： 万円 ←育休給付金の額
配偶者	□現在取得中 ☑今後取得予定 □取得しない □対象外 ◉ 取得期間 ： 2021 年 11 月 ～ 2022 年 3 月 ◉ 上記取得期間中の給付額 ： 160 万円 ←育休給付金の額

❸上記❶❷を除く、今後1年間に支給される給与・賞与額

夫は通常勤務のまま

妻は時短勤務期間中

	被保険者	配偶者
給与・賞与額	550 万円	190 万円
上記金額の対象となる期間	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月	2022 年 4 月 ～ 2022 年 9 月
上記期間内に短時間勤務等の制度を利用	□利用する ☑利用しない □制度自体が無い	☑利用する □利用しない □制度自体が無い
昨年度からの勤務形態等の変更有無	□変更有 ☑変更無 (内容：)	☑変更有 □変更無 (内容： 正社員からパート)

転職
日勤→夜勤正社員
→パート昇格
など

❹上記❶～❸を除く、今後1年間のその他収入額 （事業・不動産・年金・利子・雇用保険給付金等）

	被保険者	配偶者
収入の有無	□収入有 ☑収入無	☑収入有 □収入無
収入見込み額	万円	30 万円
上記収入の種類	( )	(不動産収入)

D.年間総収入額 （昨年度の実績、および今後1年間の見込み額）

	被保険者	配偶者
昨年度の実績	500 万円	550 万円
今後1年間の見込み	550 万円	418 万円

← 源泉徴収票などより転記

← 上記C.より集計し、記入

裏面参照 ➡

【前記記入例における今後1年間の見込額算出】

配偶者(社外)は女性、2021.10.1に出産、その後は産休･育休を取得(育休期間は、2022.3まで)、2022.4からﾊﾟｰﾄとして復職(2025.3まで時短勤務)、その他収入(不動産収入)あり

今後1年間の見込み額は、418万円

《参考》 産前産後休暇中･育児休職中の報酬額算出方法(目安)

■産前産後休暇中の報酬額

(1)出産した者が日本ガイシ正規社員の場合

･･･給料･賞与が支給されます(詳細は労制Gに問合せください)

･給料　⇒標準報酬日額(標準報酬月額/30)×2/3×産休日数

･賞与　⇒出勤率を2/3として算出した額

(2)出産した者が日本ガイシ正規社員でない場合

･･･報酬の有無については勤務先に問合せください

(報酬が出ない場合は通常、加入する健保組合から出産手当金が支給されます)

･出産手当金　⇒標準報酬日額(標準報酬月額/30)×2/3×産休日数

■育児休職中の給付金額

･･･受給資格など詳細はハローワークに問合せください

(1)休職開始から180日まで

･休業開始時賃金の日額×支給日数×67%

(2)休職開始181日～終了日まで(通常、子供が1歳を迎える前日まで)

･休業開始時賃金の日額×支給日数×50%

※休業開始賃金の日額とは･･･

育児休業を取る直前の6ヵ月間の給料(残業手当･通勤手当などを含む総支給額)を180日で割った金額

夫婦共同扶養確認書

※当該確認書は『配偶者が日本ガイシ健

【入社時の記入例】
夫が2021.10.1付けで日本ガイシに入社(配偶者(妻)は協会けんぽ加入の被保険者で通常勤務)。入社により子供を日本ガイシ健保の被扶養者として申請する場合

険者等記号-番号　1　-　23456
名　健保　太郎

※該当する□に✓を付け、

A.配偶者(夫または妻)はいます

☑いる ▶ B.に進む
□いない ▶ □未婚　□死別　□離婚 ▶ 養育費　(□有　⇒　　万円/年　□無)
「いない」に☑した方は下記、B.以降は記入不要

B.配偶者は日本ガイシ健保の被保険者ですか？

□はい ▶ 配偶者の保険証記号･番号：　-
☑いいえ ▶ 配偶者が加入する健康保険の名称：　協会けんぽ

C.収入状況　※①～④を合算して、D.の今後1年間の見込みとなるように記載願います。

❶今後1年間の産前産後休暇について

申請者が男性の場合は配偶者の報酬、女性の場合は自身の報酬を記入

□現在取得中　□今後取得予定　☑対象外
「出生」の場合、開始日には出生年月を記入してください
◉ 取得期間 ：　　年　　月 ～　　年　　月
◉ 上記取得期間中の報酬(給付)額 ：　　万円

❷今後1年間の育児休職について

被保険者	□現在取得中　□今後取得予定　□取得しない　☑対象外 ◉ 取得期間 ：　　年　　月 ～　　年　　月 ◉ 上記取得期間中の給付額 ：　　万円　←育休給付金の額
配偶者	□現在取得中　□今後取得予定　□取得しない　☑対象外 ◉ 取得期間 ：　　年　　月 ～　　年　　月 ◉ 上記取得期間中の給付額 ：　　万円　←育休給付金の額

❸上記❶❷を除く、今後1年間に支給される給与･賞与額

夫は通常勤務　　妻は通常勤務

	被保険者	配偶者
給与･賞与額	600 万円	420 万円
上記金額の対象となる期間	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月
上記期間内に短時間勤務等の制度を利用	□利用する　☑利用しない □制度自体が無い	□利用する　□利用しない ☑制度自体が無い
昨年度からの勤務形態等の変更有無	☑変更有　□変更無 (内容：日本ガイシに転職)	□変更有　☑変更無 (内容：　　)

転職
日勤→夜勤正社員
→パート昇格
など

❹上記❶～❸を除く、今後1年間のその他収入額 (事業･不動産･年金･利子･雇用保険給付金等)

	被保険者	配偶者
収入の有無	□収入有　☑収入無	☑収入有　□収入無
収入見込み額	万円	30 万円
上記収入の種類	(　　)	(不動産収入)

D.年間総収入額 (昨年度の実績、および今後1年間の見込み額)

	被保険者	配偶者	
昨年度の実績	500 万円	400 万円	源泉徴収票などより転記
今後1年間の見込み	600 万円	450 万円	上記C.より集計し、記入

夫婦共同扶養確認書

※当該確認書は『配偶者が日本ガイシ健保

被保険者等記号-番号	1 － 23456
名	健保 太郎

※該当する□に✓を付け、

【扶養異動時の記入例】

夫婦ともに日本ガイシ健保加入の被保険者。子供は配偶者（妻）の扶養に入れていたが、今後は夫の方が収入額が多くなるため、子供の扶養を妻から夫に変更する場合

A.配偶者（夫または妻）はいます

☑いる ▶ B.に進む

□いない ▶ □未婚 □死別 □離婚 （□有 ⇒ 万円/年 □無）

「いない」に☑した方は下記、B.以降は記入不要

B.配偶者は日本ガイシ健保の被保険者ですか？

☑はい ▶ 配偶者の保険証記号・番号： 1 － 21000

□いいえ ▶ 配偶者が加入する健康保険の名称：

C.収入状況 ※①～④を合算して、D.の今後1年間の見込みとなるように記載願います。

❶今後1年間の産前産後休暇について

申請者が男性の場合は配偶者の報酬、女性の場合は自身の報酬を記入

□現在取得中 □今後取得予定 ☑対象外 「出生」の場合、開始日には出生年月を記入してください

◉ 取得期間 ： 年 月 ～ 年 月

◉ 上記取得期間中の報酬（給付）額 ： 万円

❷今後1年間の育児休職について

被保険者	□現在取得中 □今後取得予定 □取得しない ☑対象外	
	◉ 取得期間 ： 年 月 ～ 年 月	
	◉ 上記取得期間中の給付額 ： 万円	←育休給付金の額
配偶者	□現在取得中 □今後取得予定 □取得しない ☑対象外	
	◉ 取得期間 ： 年 月 ～ 年 月	
	◉ 上記取得期間中の給付額 ： 万円	←育休給付金の額

❸上記❶❷を除く、今後1年間に支給される給与・賞与額

	被保険者（夫は通常勤務）	配偶者（妻は通常勤務）
給与・賞与額	550 万円	420 万円
上記金額の対象となる期間	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月	2021 年 10 月 ～ 2022 年 9 月
上記期間内に短時間勤務等の制度を利用	□利用する ☑利用しない □制度自体が無い	□利用する ☑利用しない □制度自体が無い
昨年度からの勤務形態等の変更有無	□変更有 ☑変更無 （内容： ）	□変更有 ☑変更無 （内容： ） ←転職 日勤→夜勤正社員 →パート昇格 など

❹上記❶～❸を除く、今後1年間のその他収入額 （事業・不動産・年金・利子・雇用保険給付金等）

	被保険者	配偶者
収入の有無	□収入有 ☑収入無	☑収入有 □収入無
収入見込み額	万円	30 万円
上記収入の種類	（ ）	（ 不動産収入 ）

D.年間総収入額 （昨年度の実績、および今後1年間の見込み額）

	被保険者	配偶者	
昨年度の実績	500 万円	400 万円	←源泉徴収票などより転記
今後1年間の見込み	550 万円	450 万円	←上記C.より集計し、記入